

研 究 所 日 誌

(平成8年4～11月は社会保障研究所, 平成8年12月～9年3月は国立社会保障・人口問題研究所社会保障関係行事)

平成8.4.19 研究課題II 社会保障の費用負担と世代間の公平性に関する研究(第1回)

報告内容と報告者「今後の研究会の進め方」中央大学教授 貝塚啓明

同 定例役員会(第323回)

4.26 第1回国際交流研究交流会 単天倫(中国社会科学院副秘書長兼人事教育局局長) 来所他2名 来所

5.10 定例役員会(第324回)

5.14 研究課題II 社会保障の費用負担と世代間の公平性に関する研究(第2回)

報告内容と報告者「アメリカ社会保障における改革」A Senior Fellow of Brookings Institution Gary Burtless

5.21 研究課題III 社会保障の機能——高齢者を中心とした実証分析のためのフレームづくり(第1回)

「今後の研究内容について」

6.7 研究課題III 社会保障の機能——高齢者を中心とした実証分析のためのフレームづくり(第2回)

報告内容と報告者「社会保障制度の論点整理」上智大学教授 堀 勝洋

6.14 定例役員会(第325回)

6.18 研究課題II 社会保障の費用負担と世代間の公平性に関する研究(第3回)

報告内容と報告者「少子化問題の現状」人口問題研究所長 阿藤 誠

6.27 政策研究会(第1回)

報告内容と報告者「平成8年度厚生白書につい

て」厚生省大臣官房政策課調査室長 江口隆裕

7.5 機関誌編集会議(第1回)

7.12 定例合同役員会(第326回)

7.15 研究課題I 産業としての社会保障に関する研究(第1回)

「研究会の趣旨と今後の進め方について」

7.23 研究課題III 社会保障の機能——高齢者を中心とした実証分析のためのフレームづくり(第3回)

報告内容と報告者「利用データの解説」社会保障研究所研究部長 伏見恵文

7.25 研究課題II 社会保障の費用負担と世代間の公平性に関する研究(第4回)

報告内容と報告者「高齢化問題の社会経済分析」東京大学教授・社会保障研究所理事 宮島 洋

8.16 第2回国際交流研究交流会 オーストラリア保健・福祉研究所福祉部長 Ching Choi 博士来所

9.3～6 第32回社会保障研究所基礎講座(健保会館)

講座内容と講師名「厚生行政の課題」厚生省大臣官房政策課長 辻 哲夫, 「福祉国家の再構築」社会保障研究所長 塩野谷祐一, 「人口と家族政策」人口問題研究所人口政策部長 小島 宏, 「介護問題と福祉の課題」上智大学助教授 枅本一三郎, 「障害者プランの推進に向けて」厚生省大臣官房障害者保健福祉部企画課長 佐藤忠春, 「ホームヘルプ・サービスの現状と課題」西南女学院大学教授 橋本泰子, 「高齢社会と医療保険制度の改革」仙台白百合女子大学教授 高木安雄, 「年金改革の課題と方向」年金福祉事業団資金運用事業部上席調査役 伏見恵文, 「社会保障と保険学」慶応義塾大学名誉教授 庭田範秋, 「海外の社会保障」(オーストラリア・ニュージーランド)慶応義塾大学教授 小松隆二

- 9.12 定例役員会 (第 327 回)
- 9.17 機関誌編集会議 (第 2 回)
- 9.19 研究課題II 社会保障の費用負担と世代間の公平性に関する研究 (第 5 回)
報告内容と報告者「公的年金制度と世代の問題」慶応義塾大学教授 富永健一
- 9.30 研究課題 I 産業としての社会保障に関する研究 (第 2 回)
報告内容と報告者「産業組織論の考え方と医療セクターへの応用について」学習院大学教授 南部 鶴彦
- 10.4 第 9 回社会保障トップセミナー (東京厚生年金会館)
(講演)「厚生行政の課題」厚生事務次官 岡光序治
(パネルディスカッション) テーマ「社会保障制度と財政制度」司会: 日本経済新聞論説委員 渡辺俊介, 報告内容と報告者「高齢化社会と財政の役割」一橋大学教授 石 弘光, 「社会保障制度と財政政策」京都大学経済研究所長 佐和隆光, 「社会保障と財政の総合調整」上智大学教授 八代尚宏
- 10.18 定例役員会 (第 328 回)
- 同 平成 8 年度機関誌編集委員会 (健保会館)
- 10.22 研究課題III 社会保障の機能——高齢者を中心とした実証分析のためのフレームづくり (第 4 回)
報告内容と報告者「マイクロデータとマクロデータの乖離について」慶応義塾大学教授 牧 厚志, 「中間発表」東京理科大学教授 寺崎康博
- 同 研究課題II 社会保障の費用負担と世代間の公平性に関する研究 (第 6 回)
報告内容と報告者「世代間の再分配問題」一橋大学教授 高山憲之
- 10.29 第 35 回公開研究報告会 (健保会館)
テーマ「企業内福祉と社会保障」
報告内容と報告者「企業内福祉と社会保障 (総論)」亜細亜大学教授 藤田至孝, 「企業内福利厚生」の課題とカフェテリア・プラン」東京大学社会科学研究所教授 佐藤博樹, 「欧米の福利厚生の動向」早稲田大学教授 鈴木宏昌, 「企業年金制度の法整備」社会保障研究所主任研究員 小島晴洋
- 11.1 研究課題 I 産業としての社会保障に関する研究 (第 3 回)
報告内容と報告者「産業組織論からみた社会福祉」駒沢大学教授 坂田周一, 「社会福祉の現状と問題点」センチュリー監査法人代表社員 宮内忍
- 11.11 社会保障費調査研究委員会 (第 1 回)
報告内容と報告者「社会保障費統計: 今後の課題について意見交換」社会保障研究所研究員 勝又幸子
- 11.26 研究課題II 社会保障の費用負担と世代間の公平性に関する研究 (第 7 回)
報告内容と報告者 “Japan Was Not A Welfare State” 京都大学教授 橘木俊詔
- 12.1 国立社会保障・人口問題研究所発足
- 12.6 国立社会保障・人口問題研究所設立披露の集い (中央合同庁舎第 5 号館別館 8F 大会議室)
- 12.17 研究課題III 社会保障の機能——高齢者を中心とした実証分析のためのフレームづくり (第 5 回)
報告内容と報告者「国民生活基礎調査からわかることとわからないこと」一橋大学教授 松田芳郎
- 1.13 研究課題 I 産業としての社会保障に関する研究 (第 4 回)
報告内容と報告者「生活クラブ生協における福祉サービス事業の可能性と問題点」生活クラブ生活協同組合 澤口隆志
- 1.14 研究課題II 社会保障の費用負担と世代間の公平性に関する研究 (第 8 回)
報告内容と報告者 “Institutional Differences between Developed Countries” 中央大学教授 貝塚啓明
- 同 政策研究会
報告内容と報告者「介護保険法について」厚生省大臣官房政策課高齢者対策本部次長補佐 神田裕二
- 1.24 研究課題III 社会保障の機能——高齢者を中心とした実証分析のためのフレームづくり (第 6 回)

- 報告内容と報告者“Changing Economic Position of the Elderly with a Special Reference to Their Family Status”上智大学教授 八代尚宏
- 2.10 第1回厚生政策セミナー(有楽町朝日ホール)
(テーマ)「福祉国家の再構築——少子・高齢社会の社会保障はどうあるべきか」
(パネリスト)ドイツ連邦人口研究所長 シャルロット・ヘーン, プルッキングズ研究所シニア・フェロー ヘンリー・アーロン, ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス・リーダー ジョン・ヒルズ, 東京大学教授 宮島 洋, 司会: 国立社会保障・人口問題研究所長 塩野谷祐一
- 2.18 研究課題II 社会保障の費用負担と世代間の公平性に関する研究(第9回)
報告内容と報告者「公的年金の世代間移転について」新潟大学助教授 麻生良文
- 2.21 政策研究会
報告内容と報告者「医療保険改革について」厚生省保険局企画官 榮畑 潤
- 2.27 研究課題I 産業としての社会保障に関する研究(第5回)
報告内容と報告者「聖隷福祉事業団における医療・福祉サービス事業について」社会福祉法人聖隷福祉事業団高齢者公益事業本部渉外部長 鈴木 望
- 3.17 研究課題II 社会保障の費用負担と世代間の公平性に関する研究(第10回)
報告内容と報告者「家族と社会保障」千葉大学教授 宮本みち子
- 3.18 政策研究会
報告内容と報告者「年金財政再計算について(財政再計算の仕組みと人口新推計を踏まえた今後の対応策について)」厚生省年金局数理課課長補佐 山崎伸彦
- 同 社会保障費調査研究委員会(第2回)
報告内容と報告者「社会保障費推計の概要について」国立社会保障・人口問題研究所総合企画部第3室長 勝又幸子
- 3.28 研究課題III 社会保障の機能——高齢者を中心とした実証分析のためのフレームづくり(第7回)
報告内容と報告者「長野県の高齢者世帯の実証分析(中間報告)」慶応義塾大学教授 牧 厚志, 国立社会保障・人口問題研究所社会保障応用分析研究部研究員 駒村康平